



ACH200HDMI2-U

オートフォーカス

実務操作マニュアル

ACH2テクノロジーズ株式会社

目次

1 カメラ デバイス	4
2 カメラのインストール手順	4
3 メニュー インターフェイス	5
3.1 メイン メニュー	5
3.2 設定	6
4 メイン メニュー	7
4.1 U ディスク ヒント	7
4.2 言語パターン	7
4.3 フォーカス	7
4.3.1 フォーカス位置	7
4.3.2 AF ROI	7
4.4 補助ツール	8
4.4.1 フリーズ	8
4.4.2 スナップ	8
4.4.3 ビデオ	8
4.4.4 自動ホワイトバランス(AWB)	9
4.4.5 オープン	9
4.4.6 データ	10
4.4.7 Automatic Exposure(AE)	11
4.5 Measureツール	11
4.6 カスタムテンプレート	12
4.7 スケール	13
4.8 ライン	14
4.9 ロゴ	15
4.10 その他	15
4.10.1 メニュー 呼出と非表示	15
4.10.2 バージョン	15
5 設定の詳細説明	16
5.1 撮影設定	16
5.2 ビデオ設定	16

5.3 計測設定	16
5.4 複数セット	17
5.5 カメラ設定	17
5.5.1 メインパラメータ設定	18
5.5.1.1 明るさ	18
5.5.1.2 露出 & ゲイン	18
5.5.1.3 赤/緑/青ゲイン	18
5.5.1.4 彩度/コントラスト/シャープネス	19
5.5.1.5 HDR	19
5.5.1.6 ZOOM	19
5.5.1.7 ホワイトバランス/自動露出	19
5.5.2 その他 設定	19
5.5.3 編集	20

1 カメラ デバイス

1. レンズマウント: C マウス顕微鏡または C マウス レンズ
2. ケーブル: HDMIを使用し1080P@60Hz又は1080P@50Hz ディスプレイをサポート

2 カメラのインストール手順

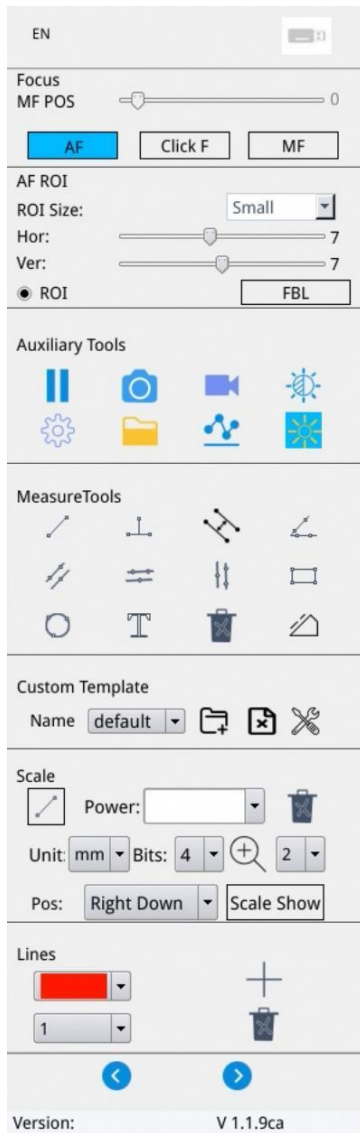
1. C マウントレンズ又はCマウント顕微鏡に接続します。
2. HDMI ケーブルをカメラとモニターに接続します。
3. マウスを接続します。
4. カメラに電源を供給するため弊社が提供する電源を使用してください。

基本操作方法:


1. 上記正しく接続後、モニターにメニューを表示するにはマウスを右クリックします。
2. メニューはモニターの左右どちらかに表示できます。
3. フォーカスエリア(大小)は任意に移動できます。

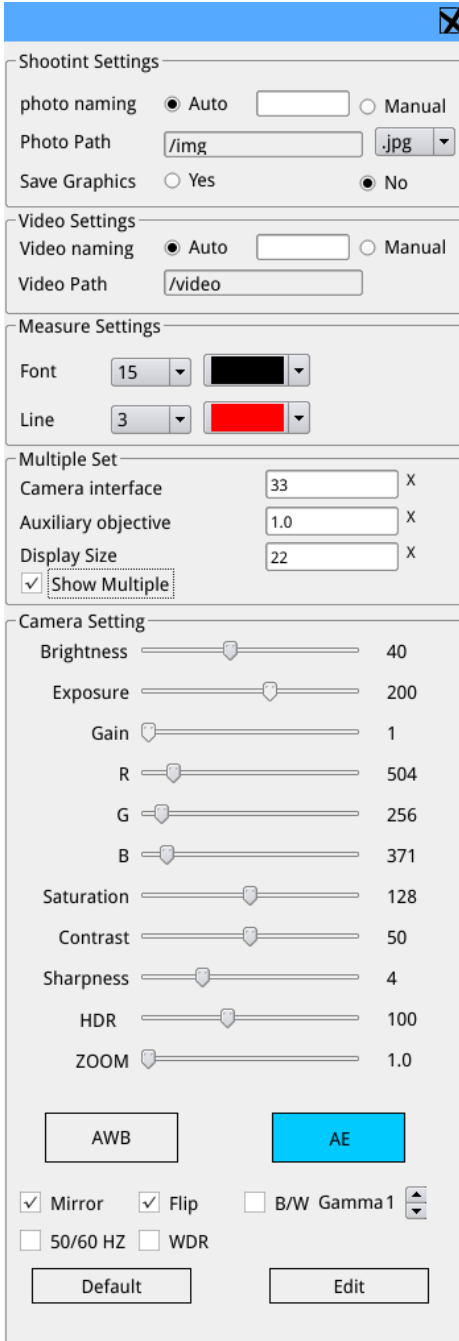
3 メニュー I/F

3.1 メイン メニュー



3.2 設定

 アクセサリー領域の[設定]ボタンを開きます。



The screenshot shows a settings dialog box with the following sections and controls:

- Shootint Settings**
 - photo naming: Auto Manual
 - Photo Path:
 - Save Graphics: Yes No
- Video Settings**
 - Video naming: Auto Manual
 - Video Path:
- Measure Settings**
 - Font:
 - Line:
- Multiple Set**
 - Camera interface: X
 - Auxiliary objective: X
 - Display Size: X
 - Show Multiple
- Camera Setting**
 - Brightness: 40
 - Exposure: 200
 - Gain: 1
 - R: 504
 - G: 256
 - B: 371
 - Saturation: 128
 - Contrast: 50
 - Sharpness: 4
 - HDR: 100
 - ZOOM: 1.0
- Buttons:
- Options: Mirror Flip B/W Gamma 1
- Options: 50/60 HZ WDR
- Buttons:

4 詳細

4.1 U ディスク(USBメモリー)

U ディスクがカメラに挿入されると、アイコンが点灯し写真および録画機能が正常に動作します。U ディスクが接続されていない場合、アイコンはネガティブ(灰色)になります。

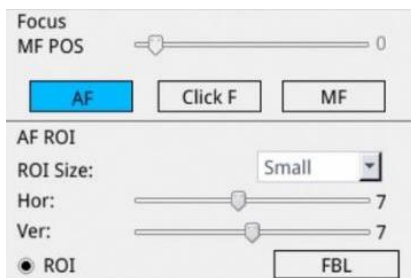


4.2 言語パターン メニューの右上隅をクリックして言語モードを切り替えます。

英語と中国語(簡体)が利用できます。



4.3 フォーカス



4.3.1 位置

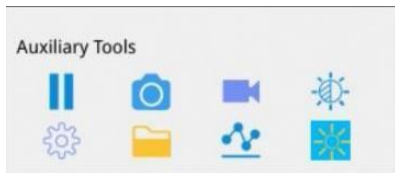
手動フォーカスをクリックした後、マウスで「MF POS」をドラッグしてフォーカス位置を制御して画像が正しくフォーカスされるようにします。ワンクリックフォーカスをクリックすると、自動的に一度フォーカスし距離を変更します。

この操作の後、カメラは自動的にフォーカスしなくなります。オートフォーカスをクリックした後、オートフォーカスモードに入り距離を変更します。この操作の乗数は、オートフォーカスが有効になった後になります。



4.3.2 AF ROI

フォーカス ボックスがチェックされていない場合、カメラはデフォルトでグローバルフォーカス(全域フォーカス)に設定され、画面全体に画像がフォーカスされます。フォーカス ボックスをオンにすると、カメラがフォーカスエリアを自由に選択でき、マウスでメニューの「水平」と「垂直」をクリックまたはドラッグしてフォーカスエリアを変更できます。フォーカスエリアサイズには「大」と「小」の2つのモードがあります。モーターセンターをクリックするとカメラはデフォルトで中央のフォーカス位置、フォーカス値 0 になります。


4.4 補助ツール



4.4.1 フリーズ


「フリーズ」 アイコンをクリックして、現在の画像インターフェイスを停止します。その後、アイコンはフリーズ状態になり、再度アイコンをクリックすると  リアルタイム表示に戻ります。


4.4.2 スナップ

「スナップ」 アイコンをクリックします。写真設定の命名方法が手動の場合は、写真名を入力して保存し [OK] をクリックします。次に、写真の名前を自動的に入力します。画像の中央に「キャッチイン」アイコンが表示されます。アイコンが消え、画像が完成したことを示します。写真は jpg または bmp 形式でUSBメモリーの写真フォルダーに保存されます。

4.4.3 ビデオ


ビデオ録画機能は、Uディスク(USBメモリー)が挿入されている場合にのみ使用できます。

「ビデオ」 アイコンをクリックし、保存したいファイル名を入力し、「OK」をクリックしてから録画を開始します。ビデオの録画中、ビデオの赤色のアイコンがビデオの右下隅に点滅します。


「ビデオ」 アイコンをもう一度クリックすると、「ビデオ保存」が表示され、録画が自動的に停止します。

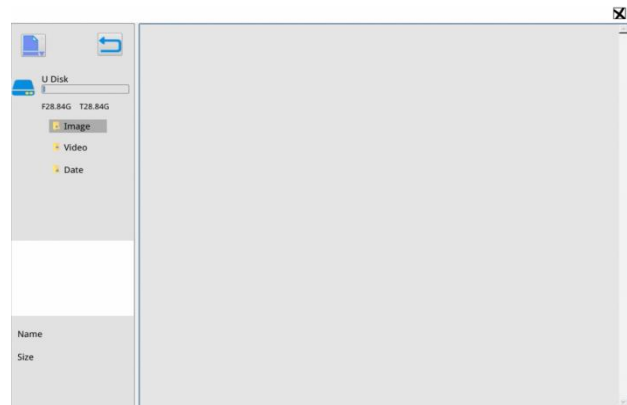
注: ビデオは、U ディスクの「ビデオ」フォルダーに自動的に保存されます。形式は「mp4」です。1 回のビデオ録画の最大サイズは約 4G で、4G を超えるビデオ録画は自動的に停止します。

4.4.4 自動ホワイト バランス(AWB)

「AWB」 アイコンをクリックするとカメラは自動的に画像のホワイト バランスを調整しその後自動的に手動ホワイトバランスに戻ります。この機能は[設定]ページでも設定可能です。

4.4.5 開く

「開く」アイコン  をクリックして、外部ストレージ をポップアップ(起動)します。(開くには U ディスクが必要です) U ディスクを、



挿入するとビデオ ファイルを開くことができ、mp4 形式でのビデオ再生のみをサポートします。

画像は外部メモリに保存されU Disk-Image-Manual / AUTO フォルダ内;ビデオは外部の

U Disk-Video-Manual / AUTO フォルダに保存されます

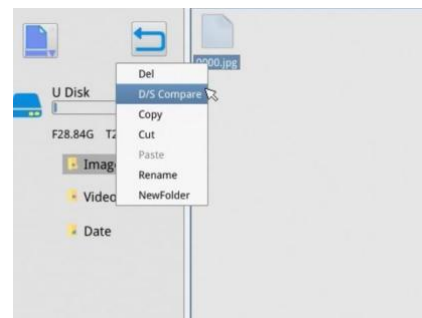
(Manual は手動で名前が付けられたファイル ストレージ パスで、

AUTO は自動的に名前が付けられたファイル ストレージ パスです)


画像、左右のページをめくりツールをクリックして、上下の画像を確認します。黒い戻りの矢印をクリックして、ブラウザインターフェイスを終了します。ビデオ ファイルをダブルクリックして、戻るおよび一時停止/再生機能ボタンでビデオを開きます。

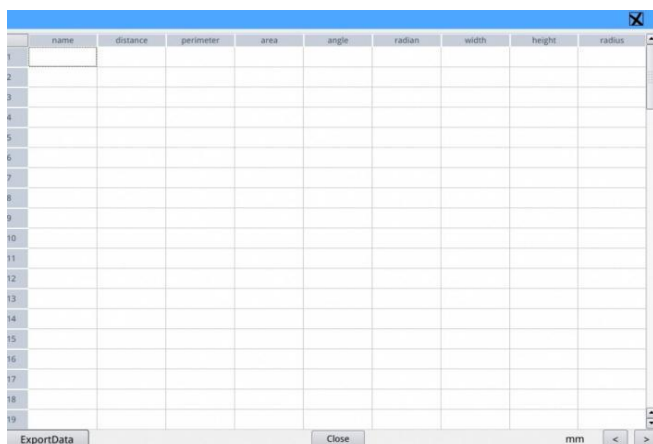


動画および静止画比較 (元の「比較画像」) 機能: 画像を右クリックして、動画および静止画のコントラスト画像を選択すると、ポップアップ表示されます。画面の左側はリアルタイム ビデオ で、右側は選択された画像です。左側のリアルタイム ビデオ ストリーミング画像と右側の静止画をクリックしてドラッグすると、簡単に比較できます。



4.4.6 データ

アイコンをクリックして  データ表示に入ります。




	name	distance	perimeter	area	angle	radian	width	height	radius
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									

1. データ ページには、距離、周長、面積、角度、ラジアン、幅、高さ、半径など、最大 8 つのデータタイプを表示できます。データ型は、メイン メニュー/設定/編集で変更できます。

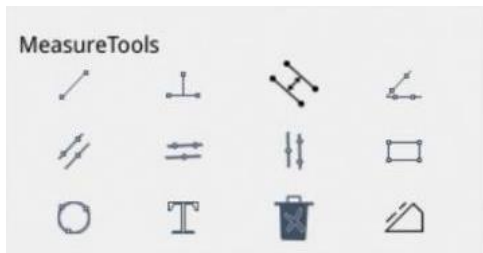
2. 測定要素名はカスタマイズできません。デフォルトの命名規則は次のとおりです。L は線分距離クラスで始まり、R は円形クラスで始まります。A は角度クラスで始まります。

3. 左下隅にある [データのエクスポート] ボタンをクリックしてエクスポートします。csv形式のファイルデータ。下部メニューに表示されるデータ単位 - キャリブレーション メニュー エリアの単位と同期。ページを閉じるためのボタン オプションは、ページの下部にあります。右下隅にある左右の矢印アイコンは、ページを左右に移動します。マウスを長押しすると、データ リストをドラッグして位置を変更することもできます。データリストには最大 100 件のデータを記録できます。

4.4.7 自動露出(AE)

「AE」  アイコンをクリックすると、カメラが自動露出になります。もう一度クリックすると、自動露出を終了して手動露出モードになります。この機能は、[設定] ページでも設定できます。



4.5 測定 ツール




(一部の測定ツールでは、ページ設定を手動で編集する必要があります)

測定ツールをクリックして測定モードに入り、直線やその他の測定方法を作成できます。モードでは、現在のフォーカスがロックされます。デフォルトでは、マニュアル フォーカスおよびその他のフォーカスモードを切り替えることはできません。測定モードを終了するには、ディスプレイ インターフェイスの右上隅にある青い三角形のアイコンをクリックする必要があります)

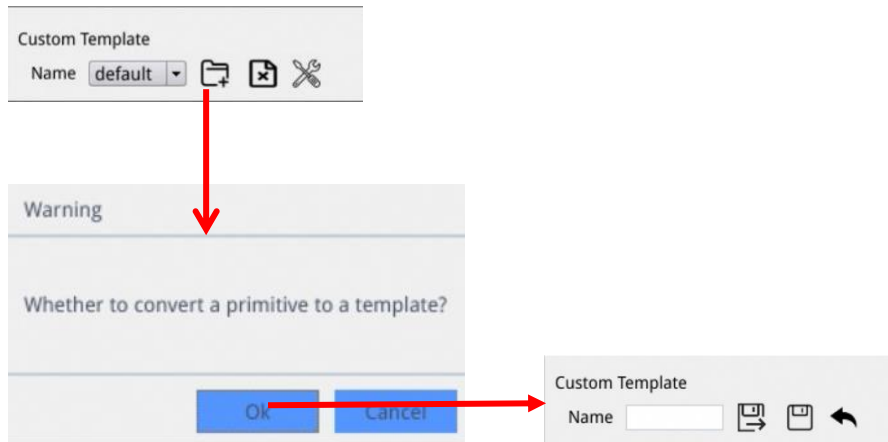


[自動エッジ検出 ] アイコンをクリックしアイコンを選択して青色に 。画像を測定する際に自動エッジ検索が可能になります。

「すべて削除」  アイコンをクリックすると追加したすべての行が削除されます。「テキスト」


 アイコンをクリックして測定値に注釈を付けます。マウスの右ボタンを長押しすると、矢印と注釈の内容をドラッグして位置を変更できます。



4.6 カスタム テンプレート






カスタムモジュールには、自動的に生成されたデフォルトのテンプレート名

「default」があります。デフォルトのテンプレートは、削除の変更をサポートしていません。

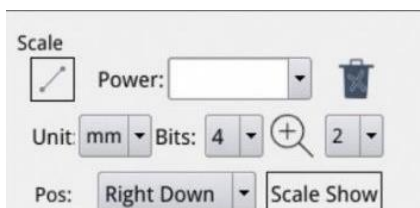
画像領域に要素を描画した後、「新規」アイコンをクリックすると、「要素をテンプレートに変換するかどうか」のウィンドウがポップアップ表示され、「OK」をクリックして新しいテンプレートを確立します。新しいインターフェイスが表示され、[名前] 列でテンプレートに名前が付けられます。およびいくつかのアイコン オプション: [名前を付けて保存]、[保存]、および [キャンセル]。


[削除] アイコンをクリックし  テンプレートを削除するにはクリックして 、テンプレートを変更します。

[保存]  または  アイコンをクリックして変更したテンプレートを保存し、

[戻る]  アイコンをクリックして変更したテンプレートは保存されません。

4.7 Scale(スケール)



スケールの  をクリックすると「H Calibrate」と「Circle Calibrate」の 2 つのオプションのキャリブレーションがあります。マーキングラインを固定スケール マーキング ライン にドラッグし、レンズ倍率値 (名前)、マーキング ライン間の実際の長さを入力し、単位を選択して、キャリブレーションを (1 回)完了します。データの各キャリブレーション セットは乗数リストに表示されます。



◆キャリブレーションの削除: ドロップダウン キャリブレーション リストをクリックし、削除するキャリブレーション グループを選択し、[削除] アイコンをクリックしてグループ キャリブレーションを削除します。


✦スケールバー機能:



スケール単位、精度、位置、および表示を選択します。(ここでの単位と精度は、校正、測定、スケール、およびデータリストで共通です)

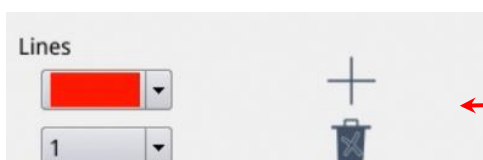
✦ ピクチャー イン ピクチャー:



クリック  画像を開くには、大画面の右下隅に小さな個別に拡大されたウィンドウが表示され、画像の倍率は 2 / 4 / 6 です。

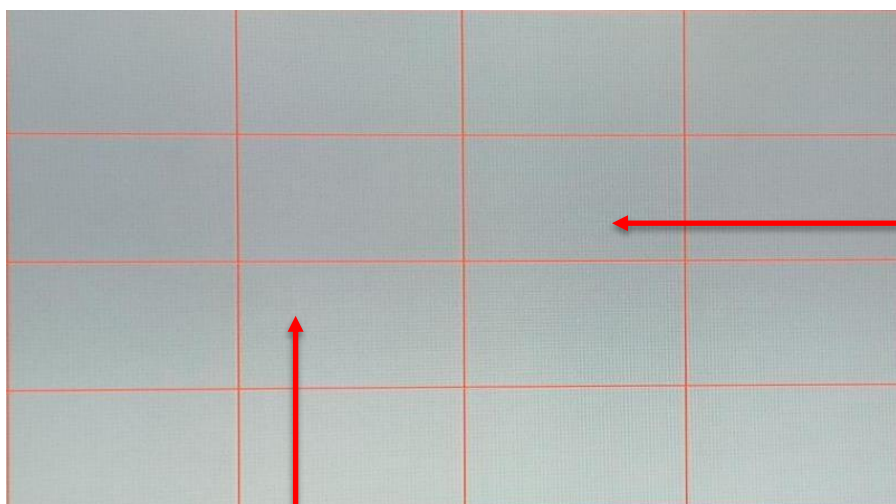
4.8 ライン

1.「+」をクリックして水平線と垂直線のクロスラインの数を設定し、水平線と垂直線の設定が完了したら、「表示」を選択し画像表示領域に設定したクロスラインを表示します。「非表示」にチェックを入れて表示しない「すべて削除」を選択すると、すべてのクロスラインが削除されます。




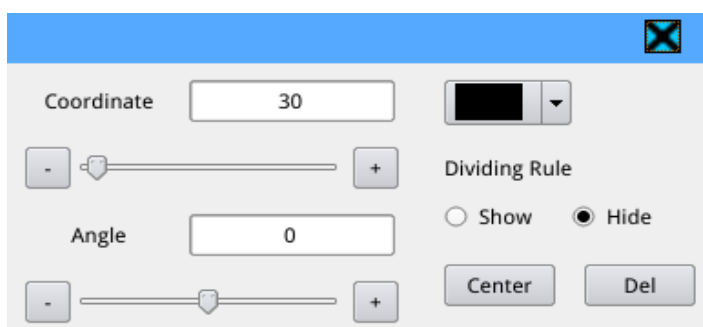
水平、垂直ラインの本数をセットします。

クロスラインを表示する:



マウスの右ボタンを押したまま、十字線をドラッグします。

2. クリックしてクロスラインの色ツールと太さツール  を設定し、プルダウンでクロスラインの色と太さを設定し、クロスラインを設定、クロスラインを再度描画、クロスラインが変化しない前にペイントします。
3. 画面内のクロスラインを右クリックして、クロスライン調整バーを開きます。



4. 入力またはドラッグして十字線の位置と角度を調整し、1本の線の色と目盛りを表示するかどうかを選択します。[C入力]をクリックして十字線を画像の中央に調整し、[削除] “✖”を削除します。



4.9 ロゴ



必要なロゴを識別バーに設定し画像などをインポートできます。名前は「ロゴ」に設定する必要があります。サイズは 1MB 未満にする必要があります。そしてフォーマットは。PNG;インポート方法: ロゴ画像の U ディスクをカメラに挿入しマウスの左ボタンで識別バーをダブルクリックしてインポートを完了します。(識別メニューバーはデフォルトで閉じられています。開く場合は設定メニュー で開きます)

4. 10 その他

4. 10. 1 メニュー 呼び出しと非表示

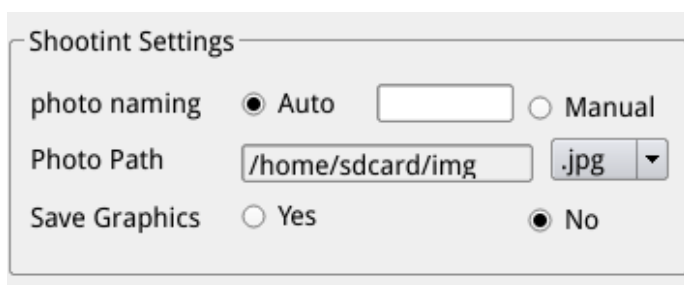
クリック  または  メニューを画面の左側、右側に移動するか非表示にします。右クリックしてメニューを開いた後、非表示にします。

4. 10. 2 バージョン番号

メインメニューの下部には、カメラの現在のソフトウェア バージョン番号が表示されます。

5 詳細な説明

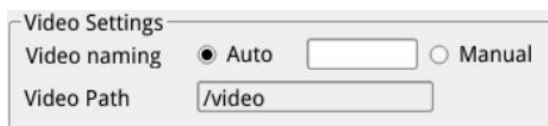
5. 1 撮影設定



ネーミングは、自動または手動で設定できます。自動モードでの自動命名規則は、カスタム プレフィックス (空にすることもできます) + "0000".jpg/ です。bmp (0000 からカウントし、その後に 0001,0002 …) 手動モードでは写真の名前を完全にカスタマイズできます。写真は、.jpg 形式又はbmp 形式で保存されます。。

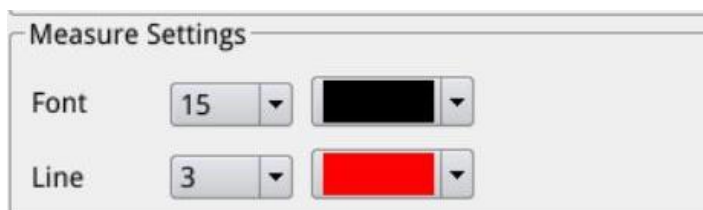
保存要素にチェックを入れると「はい」で図面上の計測線を写真画像に保存し、「いいえ」では描画線は保存しません。

5. 2 ビデオ設定



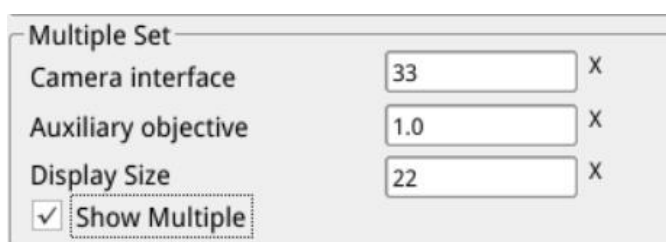
ビデオ設定も同様に名前が付けられます。自動命名規則は、カスタム プレフィックス (プレフィックスは空にすることもできます) + "0000" です。mp4 (カウントは 0000 から始まり、その後に 0001,0002 …) 手動モードでは、ビデオ名を完全にカスタマイズできます。動画ファイルは mp4 形式。

5.3 測定設定



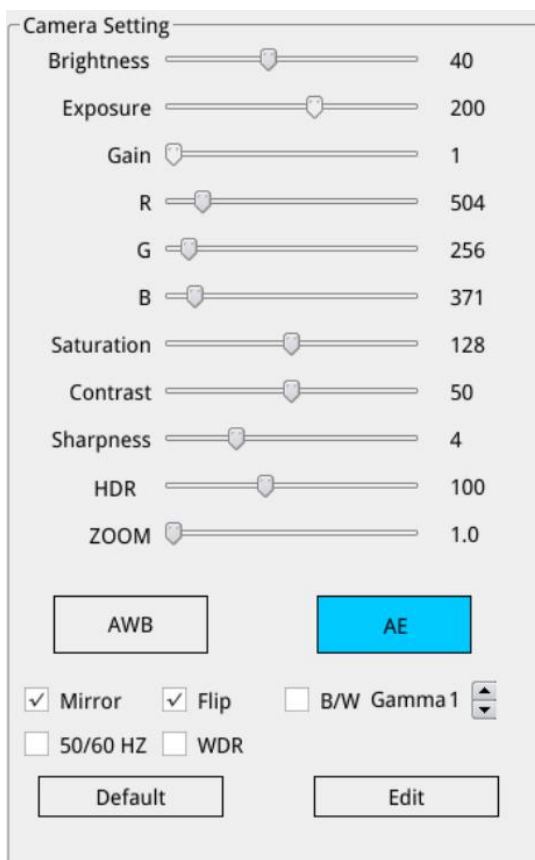
測定ツールで、テキストと線分のサイズ、太さ、および色を選択できます。

5.4 セット

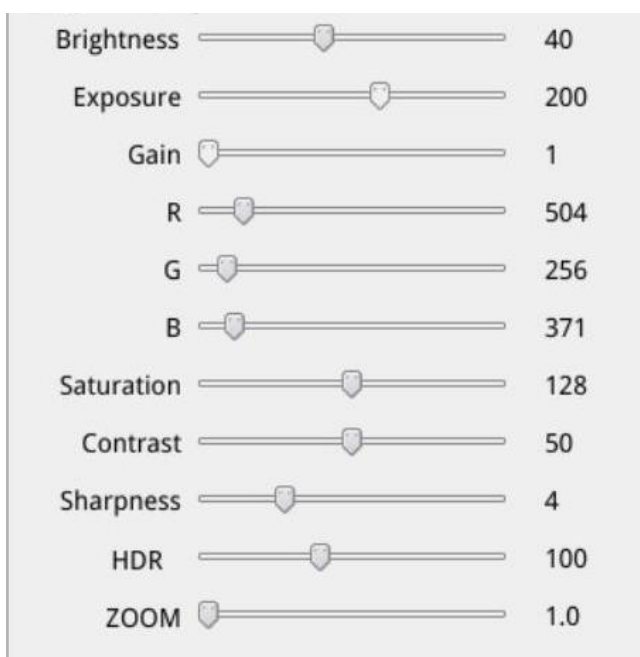


複数のセットを設定できます:カメラインターフェイス比率、補助対物レンズ比率、表示サイズの 3 つのパラメーター。乗数表示オプションをオンにすると、乗数表示のサブインターフェイスが画面の右上隅に表示されます。サブインターフェイスは、現在の主目的の比率を設定し、設定されたパラメーターに従って現在のリアルタイム比率を自動的に表示できます。

5.5 カメラ設定



5.5.1 主なパラメーター設定



5.5.1.1 明るさ

カメラのプレビュー画像の全体的な明るさを手動で調整します。明るさの調整範囲: 0 ~ 100、デフォルト値の 40 にリセットします。(注: 明るさの値は自動露出モードでのみ調整可能)

5.5.1.2

露出値: 0-333 は調整可能です。ゲイン: 0 ~ 50 の値を調整できます。(注: 露出値とゲインは、非自動露出モードでのみ調整可能です)

5.5.1.3 赤/緑/青のゲイン

赤ゲイン、緑ゲイン、青ゲイン、およびホワイトバランス「ホワイトバランス AWB」フェーズをクリックしてください。自動ホワイト バランスを選択し、自動ホワイト バランス モードを自動的に終了します。

赤のゲイン: 0-4095 調整可能

緑のゲイン: 0-4095 調整可能

青のゲイン: 0-4095 調整可能

5.5.1.4 彩度/コントラスト/シャープネス

彩度: 0-255 調整可能、デフォルト値の 128

コントラスト 50、シャープネス: 0-15 調整可能、デフォルト値をリセット 4

5.5.1.5 HDR

HDR(反射を除去する能力): 0-255 調整可能、デフォルト値を 100 にリセット

5.5.1.6 ZOOM

ZOOM: 1.0-6.0 調整可能、デフォルト値をリセット1.0。

5.5.1.7 ホワイトバランス/自動露出

「AWB」をクリックして自動ホワイトバランスを取り、自動ホワイトバランスモードを自動的に終了します。「AE」をクリックして自動露出モードに入ります。このとき、露出値とゲインは変更できないため数値調整を行う前に自動露出モードを終了する必要があります。どちらの機能も、メインメニューで利用できます。

5.5.2 その他の設定



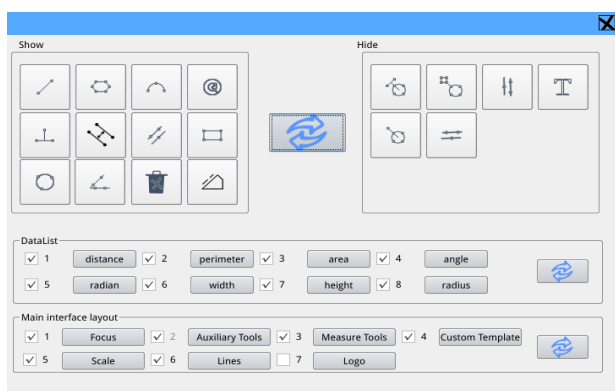
ミラー: 画面上のビデオは反対の垂直方向に配置されます。フリップ: 画面上のビデオの水平方向は、実際の方向と反対です。白黒モード: 白黒モードをチェックします。デフォルトはカラーモードです。ガンマ値: 0-3 調整可能、デフォルト値の 1 にリセットします。

50 / 60HZ: 周波数変換のチェック。WDR: オンにすると、シーンの特に明るい部分と特に暗い部分の両方を同時に鮮明に見ることができます。

5.5.3 編集



「編集」をクリックしてメニューに入ります。



測定ツールの共通機能アイコンの表示と非表示
左右のバーでグラフを選択し、中央の「交換」キーをクリックして交換できます

データリスト: メインメニューの [データ] 機能の 2 番目の列に表示されるデータタイプを調整します。クリックして任意の 2 つのデータタイプを選択し、交換アイコンをクリックして、データリストの表示順序を交換します。メインレイアウト: メインメニューに表示される機能の種類を調整します。クリックして任意の 2 つのメニューモジュールタイプを選択し、メインメニューのモジュールバーを切り替えます。forkチェックボックスの前の各アイテムタイプとメニューモジュールのデータリストとインターフェースレイアウトは、アイテムタイプ/メニューモジュールの表示と非表示を示します。

注: 上記各説明分はオペレーションの参考資料としてお使い頂き、実際の運用に応じて操作してください。

以上